

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)11月19日

所属名:高島農産普及課

番号:H25023

発信者名:中橋、三溝、大角



地域計画の実現に向けた先進事例研修会を開催！

11月7日に管内の農業組合長や担い手農業者、関係機関を対象に地域計画の実現に向けて農地集約の先進事例を学ぶ研修会を高島市や高島市農業委員会と連携して開催しました。関係機関15名を含む計67名の出席がありました。

農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、高島市では昨年度末までに129集落で地域計画が策定されました。しかし、作成期間が令和5～6年度の2か年と短期間であったため、集落内での話し合いが不十分なまま計画を策定してしまっているのが実情です。また、地域計画は一度策定して終わりではなく、集落内で話し合いを継続し、持続可能な地域農業を見据えた計画にして、実現させていくことが必要です。こうしたことから、集落内での話し合いを進めるきっかけとなるよう、本研修会を開催しました。

研修会では、まず市から地域計画の変更の手続き等について、そして当課からは担い手農業者に対して行った「農地の利用調整」に関するアンケート結果を用いて農地利用調整の仕組みづくりの重要性を伝えました。その後、グリーン・ファーム湯ノ口の湯ノ口絢也氏から集落一体となって進められた東近江市栗見新田町の農地集約の取組についてご講演いただきました。

研修会後に実施したアンケートでは「集落での農地の集積・集約の話を始めたい」や「本研修会が農地の賃借料の統一の話し合いに活かせる」といった声があり、農地集約に向けた活動について取組方法のイメージが鮮明になったようです。

当課では、引き続き関係機関と連携し、地域計画の実現に向けた集落の活動を支援していきます。



図1 研修会の様子

今日の研修を聞いて、集落での農地の集積・集約の話を始めたいと思いましたが？

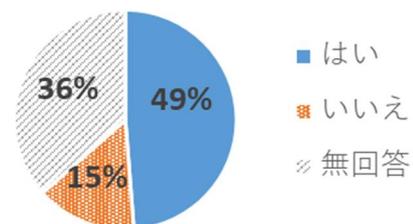


図2 アンケート結果